

平成27年度末 常滑市の借金見込額 612億円

(一人当106万円)



この借金 誰が払うの！ 平成27年度当初予算、すべて可決！

平成30年・31年には貯金(財政調整基金)も使い果たしマイナス財政になります！

一般会計予算 212億円 (昨年より6, 2%増) 教育, 福祉, 道路建設など	特別会計予算 531億円 (昨年より10, 5%減) 国保, 介護保険, 下水道など	企業会計予算 87億円 (昨年より53, 7%減) 水道と病院
--	--	---------------------------------------

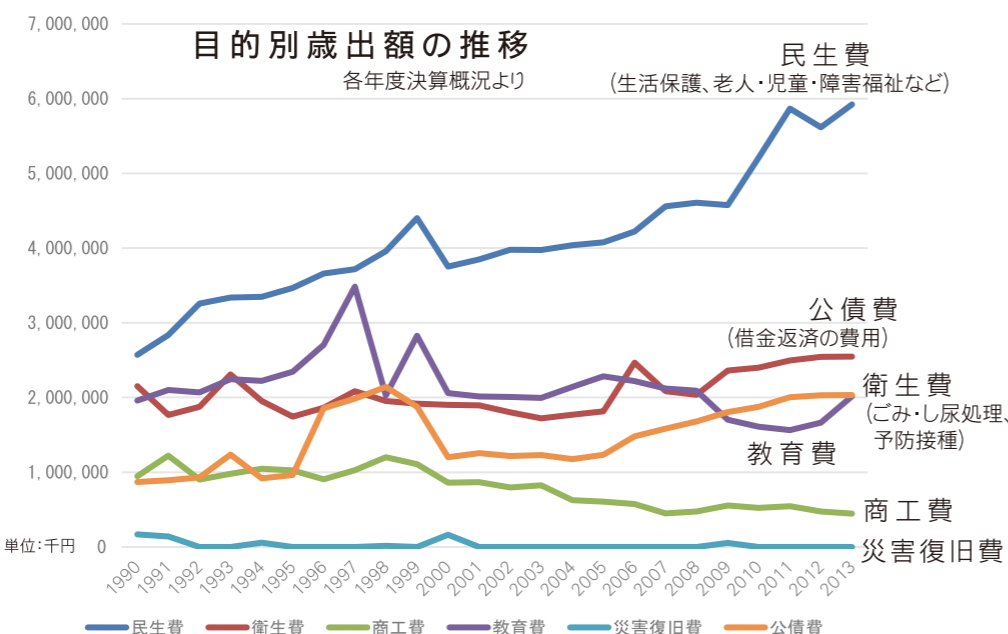
病気の深刻さを認識して！

毎年出される5年間の長期債務残高(市債と債務負担)見込みのH24年度とH27年度を比較してみると、右図のH26年~28年の合計ではH24年度の見込み額よりH27年が上回っている。この数年のどの見込みも借金を低めに試算している。そのため、H30年・31年は貯金をおろしても赤字になる見込みが発表されている。常滑市は貯金をする習慣がなく、退職金積み立てもしてこなかった珍しいまちであり、チェック機能も作動してこなかった表れである。

家庭や企業では、収入の範囲内でしかお金を借りることができない。行政の予算とは他人のお金を使うことであり、議員にとって予算をおらが町に持ってくる合理的な行動である。議員は誰がなっても同じではなく、市全体を考える人に！

長期債務残高(借金)見込H24年・H27年(単位:億円)

		H24	H25	H26	H27	H28
H24年	市債	475	481	509	486	452
	債務負担	120	111	102	93	87
	合計	595	592	612	579	539
H27年	市債			532	519	494
	債務負担			102	93	87
	合計			635	612	582



議会で議論された案件

○ 一般会計予算案で常東小学校増築検討調査費の予算執行が浮上したため、付帯決議付きで可決した。市教委は昨年4月にマンモス化を避けるため、常東小と常西小の通学区域を見直していたが、常東小の増築の計画は全くなかった。従って今後検討委員会を立ち上げた上、地元の合意を得られることを要望した。

○ 新市民病院が5月1日の開院にあたり、現病院を平成27年度に4億5千万円で取り壊しという計画であった。しかし平成27年度予算には旧病院囲い工事1千万円、土地調査650万円が計上。(早い時期の取り壊しと今後5年間の計画書の提出を要望)

○ 本来物品購入には3000万円以上、建設には1億5千万円以上は議会の議決があるものである。過去にさかのぼり消防ポンプ車2台、小学校教師用教科書等で議決されてこなかった議案に対し可決した。(責任の所在を明確にして事故再発防止を要望)

3月議会 きょう子の 一般質問

ごみ袋代の全てをごみ焼却場建設費の積立基金に

問 ごみ袋代の全てをごみ焼却場建設費の積立基金にし、ごみ減量化推進事業は一般会計で行ったかどうか。

答 市民の声を良く聞き、検討していきたい。

きょう子コメント

家庭ごみの排出量は667gから473gとなったが、事業系ごみ増のため、1人当たりのごみ処理費用1万3000円は横ばいである。ごみ減量計画は袋代があるから計画をするのではなく、市民にやる気を起こさせるのが先決であろう。答弁の中で「一つひとつ文句を言われるなら啓発活動は止めた方がよいとか市民に報告をする必要がなぜあるか」という。行政の上から目線を感じた。

ごみ減量には行政、議員、市民と一緒に汗をかくことではないだろうか。



地場産業活性化のための姉妹提携を

問 地場産業活性化のために、常滑の急須のルーツである中国宜興市などと地場産業の発展、観光振興のために、民間と協力し姉妹提携をしてはどうか。

答 海外進出している農協や商工など支援はしていくが、市として姉妹提携はしない方針である。



きょう子コメント

常滑市は将来の都市像を「世界に開かれた生活文化都市」としている。2014年までの統計で日本を訪れる中国人は204万人、その中2013年の法務省のデータでは、セントレアに降り立つ中国人は13万8096人もいる。急須は日本の数倍の値段で売られている宜興などと地場産業交流をしたり、病院での人間ドックなど空港のある町でこそできる交流を姉妹提携という形で勇気を持って結んでいただきたいものである。子どもたちの未来のために。



議会の一般質問に対する市の対応状況をホームページで公開を

問 議会の一般質問に対する市の対応状況をホームページで公開を

答 会議録閲覧、市議会だよりに掲載。先進地事例、市民からの声をもらい予算編成過程に利用している。

きょう子コメント

私は今まで32回86項目の一般質問をしてきたが、「検討します」「努力します」などと曖昧な回答のため何度も同じ質問をしなくてはならなかった。一般質問は市民の要望の声を受けて代弁者として質問をしているのであり、また、議会での内容を市民へ広く伝える場でもある。その後の進捗状況を市民に広く知らせるのは当然である。鳥取ではホームページに議員名、質問事項、進捗状況が掲載されている。